

令和4年度 現地検討会実施状況

(森林整備における低コスト化の推進)

開催数：16

(名)	
国有林	326
都道府県	125
市町村	35
森林組合	16
林業事業体（森林組合を除く）	142
研究機関	6
その他	41
合計	691

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真
リモコン式草刈機および地上型3Dレーザスキャナのデモンストレーション	6月14日～15日	根釧西部森林管理署	根釧西部森林管理署 118林班（鶴居村）	国有林 74名	リモコン式草刈機と地上型3Dレーザスキャナのデモを実施し、それぞれ作業の省力化になりえるか検証・意見交換を行った。	造林事業（下列り）省力化になりえるリモコン式草刈機と、立木調査の省力化となりえる地上型3Dレーザスキャナのデモンストレーションを実施。その後、参加者がそれぞれ操作し、その感想をアンケートに記入してもらった。	  agriaの操作説明 OWLの操作説明   参加者によるagriaの操作 モニターによるOWLの解析説明
				都道府県 20名			
				市町村 名			
				森林組合 3名			
				林業事業体（森林組合を除く） 13名			
				研究機関 名			
				その他 7名			
				合計 117名			
機械下列の現地見学会	7月6日	上川中部森林管理署	旭川市（国有林）	国有林 32名	今後、造林の初期コストの縮減・軽劣化が必要であることから、実際に機械下列りを見学し、知識の醸成を図る。	誘導伐箇所において、大型機械（クラッシャー）、リモコン式草刈機（アグリア9500）、山もつとモットによる実演を見学し、意見交換を行った。	
				都道府県 11名			
				市町村 4名			
				森林組合 名			
				林業事業体（森林組合を除く） 7名			
				研究機関 名			
				その他 名			
				合計 54名			
3Dレーザスキャナ（OWL）の講習会	7月6日～7日	・北海道森林管理局 資源活用第一課 ・根釧西部森林管理署	根釧西部森林管理署 56林班（厚岸町）	国有林 27名	3Dレーザスキャナ（OWL）の本格導入のための講習会	昨年北海道森林管理局へ配置されている地上型3Dレーザスキャナ（OWL）について、帯広地区担当者へ現地での使い方と、PCでの解析・復命書作成までの実践的な方法を説明した。	 参加者によるOWLの操作
				都道府県 名			
				市町村 名			
				森林組合 名			
				林業事業体（森林組合を除く） 名			
				研究機関 名			
				その他 名			
				合計 27名			

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真
一貫作業システム及びドローンの勉強会	7月20日	留萌北部森林管理署	留萌北部森林管理署 6林班は小班(天塩町) (当日は降雨のため森林管理署会議室にて実施)	国有林 21名 都道府県 5名 市町村 5名 森林組合 1名 林業事業体(森林組合を除く) 1名 研究機関 1名 その他 1名 合計 31名	民有林において馴染みのない一貫作業システムによる森林施業及び近年、様々な活用がされているドローンの林野行政での活用について紹介を行い、民有林への活用・普及を含めた参考とする場を計画した。	令和4年度実行中の製品生産事業における一貫作業個所において、作業現地を見学するとともに概要説明及び一貫作業システムの説明を行うこととした。また、併せてドローンについても、活用方法の説明及び飛行デモを行い、意見交換をする予定としていたが、当日は雨天であったことから、会場を署の会議室へ移し、パワーポイントを使用した説明及び質疑討論を実施した。	 
乗車型自走式刈払機実演会	7月21日	上川南部森林管理署	上川南部森林管理署 252林班ほ小班(占冠村)	国有林 12名 都道府県 7名 市町村 6名 森林組合 1名 林業事業体(森林組合を除く) 2名 研究機関 1名 その他 1名 合計 27名	下刈は造林経費の3割を占めるコスト低減の足かせとなっているうえに、労働負荷が高く担い手確保の障害となっている。森林整備を進める植えでもコスト低減及び省力化が必要であるため、係る方法の一つとして自走式刈払機による実演及び試乗会を実施した。	<ul style="list-style-type: none"> ・当署における低コスト化への取組経過について説明 ・自走式刈払機による下刈実演 ・自走式刈払機の試乗 ・その他下刈省略化に向けた各種取組報告(技術センター) 	 レンタル会社による使用機会等の説明
リモコン式草刈機による現地下刈作業実演	7月27日	根釧東部森林管理署	根釧東部森林管理署 630林班(中標津町)	国有林 5名 都道府県 3名 市町村 1名 森林組合 1名 林業事業体(森林組合を除く) 4名 研究機関 1名 その他 1名 合計 12名	根室地域の下刈作業の軽労化の推進・普及を図るため。	低密度植栽箇所において、リモコン式草刈機による下刈作業の実演見学後、参加者自らが草刈機を操作し、その後草刈機の利点や下刈方法等について意見交換を実施しました。 障害物がある箇所では草刈機を活用できる箇所が少ないので、今後使用していくには伐根等障害物の事前処理や障害物を越えることが出来るような機械の改良が必要との意見がありました。 今後は伐根処理等草刈機が自由に走行できる地拵えの方法等条件整備を検討していく必要があると思います。	

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真	
造林作業の省力化を目指した取り組みにおける現地検討会	8月2日	十勝東部森林管理署	十勝東部森林管理署 231林班（本別町）	国有林	16名	これまでの取組、その検証を踏まえて、見直しや改善を進めながら、引き続き、造林コストの縮減や造林作業の省力化、民有林への普及につなげるため。	リモコン式草刈り機「アグリア」及び乗用型多目的造林機械（山もっとモット）によるデモンストレーションを行った。 意見交換では、「どちらも機械操作は簡単だった、色々な機械と組み合わせて省力化につなげてほしい」等の意見があった一方、アンケート集約では、機械の低価格の要望が多かった。	 <p>林内を刈払う「アグリア」</p>
				都道府県	7名			
				市町村	4名			
				森林組合	2名			
				林業事業体（森林組合を除く）	21名			
				研究機関	4名			
				その他	10名			
				合計	64名			
令和4年度国有林における造林作業の機械化（山もっとモット）推進体験会	8月3日～4日	宗谷森林管理署	宗谷森林管理署 3006ち林小班（枝幸町）	国有林	26名	増加する皆伐・再造林の着実な実行と安定的な林業経営に向けた取組みを体験するため。	両日とも、乗用型多目的造林機械（山もっとモット）を使用して宗谷森林管理署若手職員、上川北部森林管理署若手職員、宗谷総合振興局林務課、町役場職員、森林組合職員、株式会社旭友興林現場代理人がそれぞれの立場から下刈体験試乗していただきました。 体験試乗していただいた感想としては「リアルに下刈作業を体験することで造林機械化促進の重要性を再確認した」などの意見が出されました。 また、初めてこの機械を試乗したとは思えない程の者もあり、操作性の良さを確認されたことから、さらに造林等作業の機械化に関心が高まったことがかじられました。 今後も増加する皆伐・再造林の着実な実行と林業経営ができるよう関係機関とともに連携して取組みたいと考えています。	 <p>職員が体験試乗している様子</p>
				都道府県	5名			
				市町村	4名			
				森林組合	4名			
				林業事業体（森林組合を除く）	17名			
				研究機関	名			
				その他	8名			
				合計	64名			
フォワーダ見学会	8月30日	<ul style="list-style-type: none"> 日高北部森林管理署 道央森林整備事業協議会 王子フォレストリー株式会社 	日高北部森林管理署 277林班（日高町）	国有林	4名	新型フォワーダの説明	静音・ハンドル操作で操作性が向上。 空調が良く効き、快適性が増したキャビン。 2人乗り仕様。 外国製のエンジン等故障した場合、直せない事や足回りのグリス差し等故障の原因となる作業性の悪さを改善。	
				都道府県	名			
				市町村	名			
				森林組合	1名			
				林業事業体（森林組合を除く）	31名			
				研究機関	名			
				その他	名			
				合計	36名			

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真
「伐採から地拵までの一貫作業」に関する研修	9月7日	胆振東部森林管理署	胆振東部森林管理署 1392林班（苫小牧市）	国有林 14名	令和4年度第1回胆振地域林政連絡会議で決定したテーマ、令和3年度に引き続き国有林で行っている、伐採から地拵までの一貫作業について、現地で実際に見てもらう。	伐採から地拵までの一貫作業を見てもらい、実行事業体から説明してもらった。その後、意見交換を行ったが、間接費などを抑えるには有効なもの、実際、民有林に取り入れるには、伐採・造林の両方ができる請負業者の確保が必要になる。などの課題も挙げられていた。	
				都道府県 6名			
				市町村 1名			
				森林組合 1名			
				林業事業体（森林組合を除く） 3名			
				研究機関 1名			
				その他 1名			
				合計 23名			
造林作業の省力化を目指した取り組みにおける現地検討会	9月8日	十勝東部森林管理署	十勝東部森林管理署 234林班（本別町）	国有林 14名	これまでの取組、その検証を踏まえて、見直しや改善を進めながら、引き続き、造林コストの縮減や造林作業の省力化、民有林への普及につなげるため。	大型機械が入れる箇所を選定し、下刈りや伐根の粉碎をデモンストレーションを行った。意見交換では、機械本体価格や刃の耐久期間等の質問があった。オペレーターから、「機械操作は難しくない、本体の回転があれば作業効率が良くなる。」等の意見があった。また、地拵え時から使用すると良いとの意見もあった。	 伐根を粉碎する「油圧ショベル用マルチャー」
				都道府県 12名			
				市町村 2名			
				森林組合 1名			
				林業事業体（森林組合を除く） 10名			
				研究機関 2名			
				その他 10名			
				合計 50名			
国有林現地見学会	10月27日	・日高振興局森林室 ・日高南部森林管理署	日高南部森林管理署 2164林班、2170林班 （新冠町）	国有林 9名	日高管内の一般民有林における新しい森林施業技術の普及・定着を目的として、コンテナ苗の生育状況確認・緩効性肥料の有効性をテーマとした見学会。	北海道森林づくり基本計画の概要 コンテナ苗と裸苗の比較 植え付け経費の試算 ○無地拵枝条存置グイマツF1コンテナ苗 ○大型機械地拵グイマツF1裸苗 ○グイマツF1コンテナ苗（エゾシカ被害） 種苗業者は育苗の手間等コンテナ苗にシフト 造林業者は作業員不足で春植え/秋植え	
				都道府県 16名			
				市町村 1名			
				森林組合 4名			
				林業事業体（森林組合を除く） 9名			
				研究機関 1名			
				その他 1名			
				合計 39名			

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真
令和4年度造林コスト削減に向けた現地検討会	10月27日	・ 檜山森林管理署 ・ 渡島森林管理署 ・ 渡島総合振興局 ・ 渡島総合振興局東部森林室 ・ 渡島総合振興局西部森林室 ・ 檜山振興局 ・ 檜山振興局森林室 (令和4年度第2回渡島檜山地域林政会議)	檜山森林管理署 2216へ林小班(上ノ国町)	国有林 33名 都道府県 8名 市町村 3名 森林組合 1名 林業事業体(森林組合を除く) 1名 研究機関 1名 その他 1名 合計 44名	造林初期コストの中でも大きなウエートを占める下刈作業のコスト削減・軽労化が期待できる当署で実施してきた「盛土地拵」について、中間期における分析・検証を行い、地域の林業関係者へ普及や検討が進むよう周知をする。	平成29年度より現地盛土地拵を実施し、下刈等保育未実施試験地として、今年度も苗木の生長・盛土の形状変化・植生の回復状況等、各種追跡調査を実施。 中間年における検証報告として、地域林政連絡会議現地検討会を開催をした。 ※令和3年11月4日開催予定としていた検討会であったが、11/2道南地区の悪天候(豪雨)より開催中止となったことから、今年度開催したものである。	 現地説明・検討状況
民有林・国有林森林施業技術交流会	11月1日	・ 網走西部森林管理署 ・ オホーツク総合振興局西部森林室	網走西部森林管理署 282と林小班(遠軽町)	国有林 15名 都道府県 23名 市町村 4名 森林組合 2名 林業事業体(森林組合を除く) 19名 研究機関 1名 その他 6名 合計 69名	地域の民有林と国有林における連携や森林施業技術の向上を図る	試験地におけるコンテナ苗の育成状況、夏季植栽箇所経過を確認してもらい、意見交換を行う。	
リモコン式刈払機現地見学会	11月8日	網走南部森林管理署	網走南部森林管理署 306め林小班(小清水町)	国有林 12名 都道府県 2名 市町村 2名 森林組合 1名 林業事業体(森林組合を除く) 6名 研究機関 1名 その他 1名 合計 22名	下刈等の省力化の方法を提案。	○道・町の担当者・林業事業体・署職員を対象に実施。 ○メーカー販売員よりリモコン式刈払機の説明を受け、苗間や林道沿線など刈り払いの実演と操作希望者は操作体験を行った。 ○下刈作業の省力化の一つの方法として紹介できた。 ○意見・感想 ・ 下刈作業の機械化に興味がある。 ・ 下刈作業以外の使用によりコストを削減できる。 ・ 春にもまたやってもらいたい。	
3Dレーザースキャナー講習会	12月13日	日高南部森林管理署	日高南部森林管理署 2136林班外(新冠町)	国有林 12名 都道府県 1名 市町村 1名 森林組合 1名 林業事業体(森林組合を除く) 1名 研究機関 1名 その他 1名 合計 12名	3Dレーザースキャナーの紹介及び活用方法を知ってもらう	(現地) 3Dレーザースキャナーの操作方法及び操作実習(座学) PCへの実習データの取り込みと見方について演習	 3Dレーザースキャナー実習の様子